

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。12月に「平成29砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」を公表した（詳細は2018年2月号参照）。

平成29砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：193万7000トン（前回見通しから9000トン減）

総供給量：193万4000トン（同1万7000トン増）

【異性化糖】

消費量および供給量：81万5000トン（同1000トン増）

表1 平成29砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

		平成28砂糖年度 (実績)	平成29砂糖年度				合計	
			10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,893	503.6	443.4	477.8	475.2	1,900	
	含みつ糖	36	5.9	14.8	10.5	6.0	37	
	合計	1,929	509.5	458.2	488.3	481.2	1,937	
供給量	国内産糖	分みつ糖	678	374.0	390.6	40.4	-	805
		含みつ糖	10	0.7	8.5	1.5	-	11
		小計	688	374.7	399.1	41.9	-	816
	輸入糖	分みつ糖	1,191	319.9	166.1	294.0	328.1	1,108
		含みつ糖	10	1.4	4.7	3.1	0.9	10
		小計	1,201	321.3	170.8	297.1	329.0	1,118
	合計	分みつ糖	1,869	693.9	556.7	344.4	328.1	1,913
		含みつ糖	20	2.1	13.2	4.6	0.9	21
		小計	1,889	696.0	569.9	399.0	329.0	1,934
期末在庫		272	453.2	564.9	415.5	263.3	263	

資料：農林水産省「平成29砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 平成29砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	平成28砂糖年度 (実績)	平成29砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	832	168.9	177.4	244.8	223.5	815
供給量	832	168.9	177.4	244.8	223.5	815

資料：農林水産省「平成29砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 異性化糖の移出動向

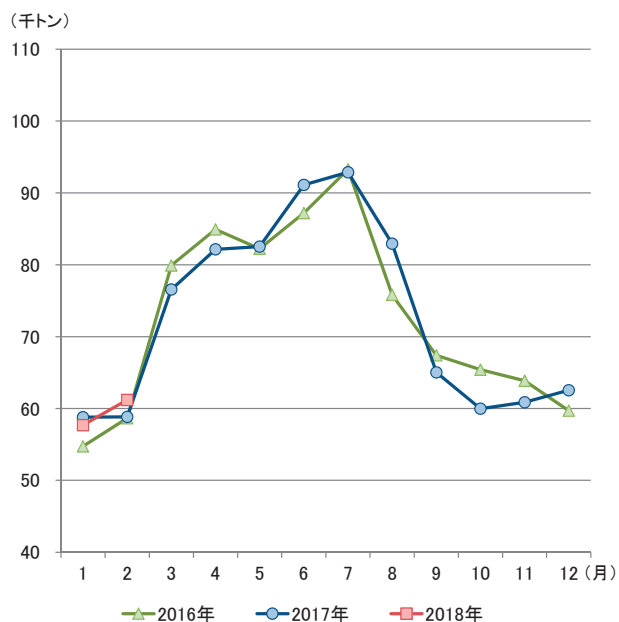
2月の移出数量は前年同月からやや増加

2018年2月の異性化糖の移出数量は、6万1202トン（前年同月比4.0%増、前月比6.1%増）であった（図1）。

規格別の移出量は、次の通りであった（図2）。

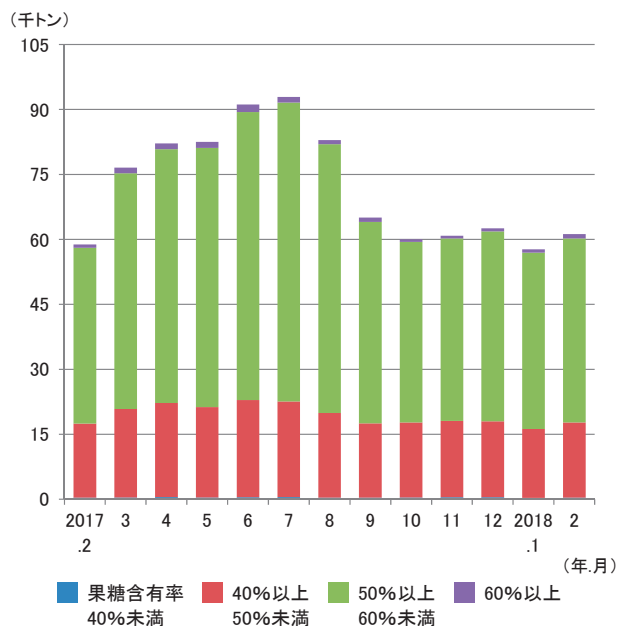
果糖含有率40%未満	370トン
（前年同月比3.6%減、前月比8.4%増）	
同40%以上50%未満	1万7353トン
（同1.7%増、同9.3%増）	
同50%以上60%未満	4万2524トン
（同4.7%増、同4.4%増）	
同60%以上	955トン
（同19.6%増、同29.0%増）	

図1 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図2 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

3. 輸入動向

【分みつ糖の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月から大幅に減少

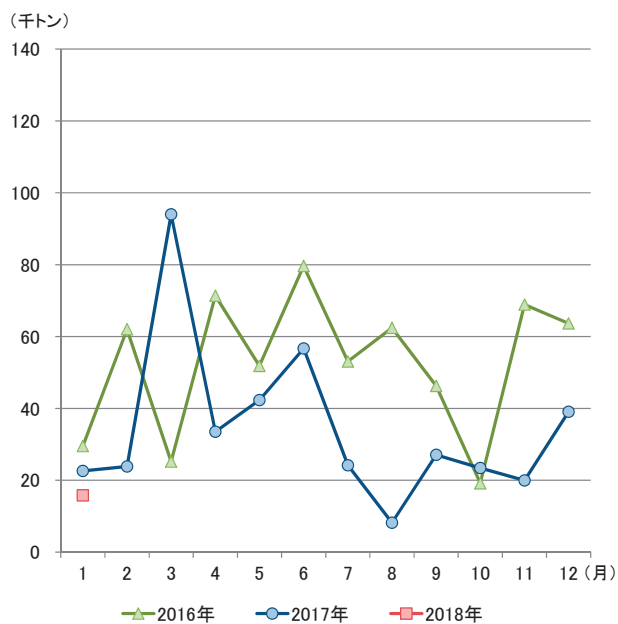
財務省「貿易統計」によると、2018年1月の分みつ糖（HSコード 1701.14-110）の輸入量は、1万5831トン（前年同月比30.0%減、前月比59.5%減）であった（図3）。

輸入先国はタイ、フィリピンおよび米国の3カ国で、輸入量は次の通りであった（図4）。

タイ	8467トン
（前年同月比62.5%減、前月輸入実績なし）	
フィリピン	7345トン
（前年同月輸入実績なし、前月比2.4倍）	
米国	19トン
（前年同月輸入実績なし、同90.0%増）	

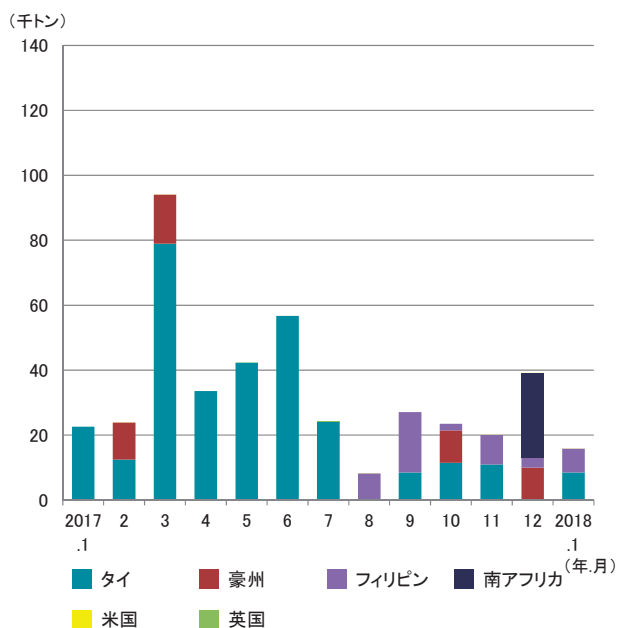
また、同月における豪州からの高糖度原料糖（糖度98.5度以上99.3度未満、HSコード1701.14-200）の輸入量は、2万5996トン（前年同月比86.0%増、前月比71.4%減）であった。

図3 分みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

図4 分みつ糖の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

2018年1月の1トン当たりの輸入価格は、4万4382円（前年同月比24.9%安、前月比4.6%安）であった（図5）。

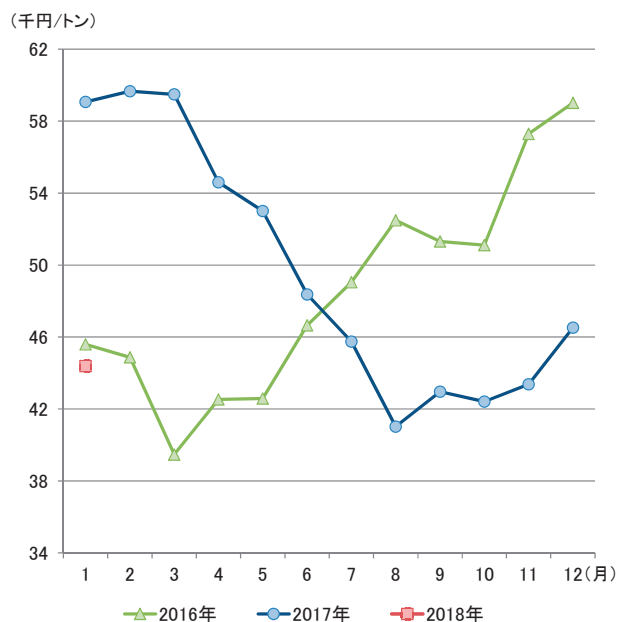
タイ 4万4842円
（前年同月比24.1%安、前月輸入実績なし）

フィリピン 4万3632円
（前年同月輸入実績なし、前月比4.3%安）

米国 12万9053円
（前年同月輸入実績なし、同2.2%安）

また、同月における豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、4万6086円（前年同月比22.0%安、前月比2.0%高）であった。

図5 分みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

【含みつ糖の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月から大幅に減少

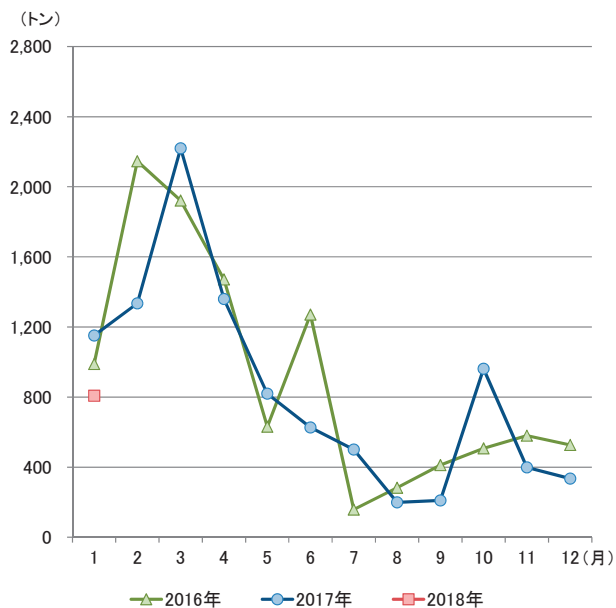
財務省「貿易統計」によると、2018年1月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、807トン（前年同月比29.9%減、前月比2.4倍）であった（図6）。

輸入先国はタイ、中国およびボリビアの3カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図7）。

タイ 351トン
（前月同月比35.0%減、前月輸入実績なし）

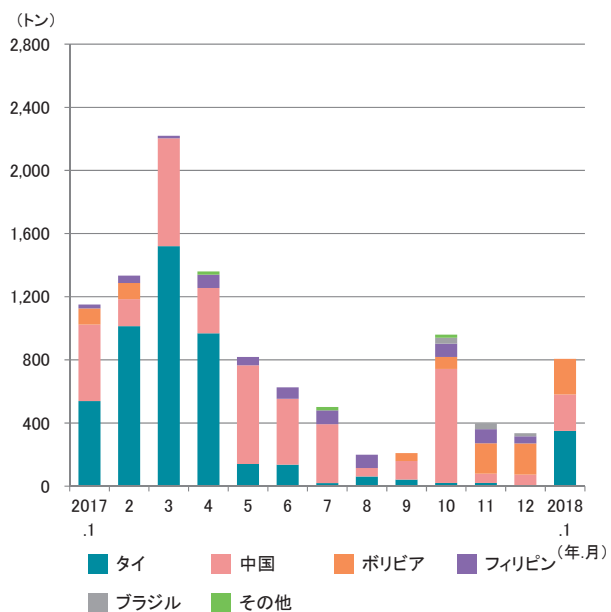
中国 230トン
 (同52.5%減、前月比3.1倍)
 ボリビア 226トン
 (同2.2倍、同14.7%増)

図6 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図7 含みつ糖の国別輸入量の推移



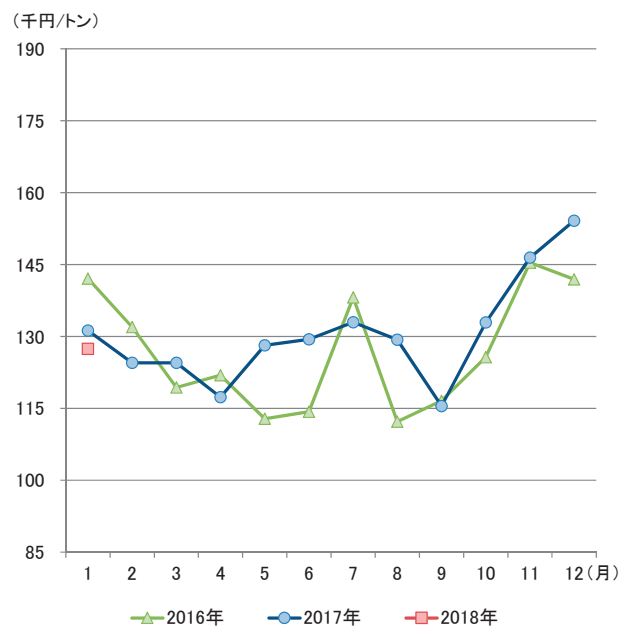
資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2018年1月の1トン当たりの輸入価格は、12万7432円（前年同月比2.9%安、前月比17.3%安）であった（図8）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ 11万9219円
 (前年同月比8.5%安、前月輸入実績なし)
 中国 13万2204円
 (同2.1%高、前月比13.5%安)
 ボリビア 13万5332円
 (同1.1%安、同比1.8%安)

図8 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

【加糖調製品の輸入動向】

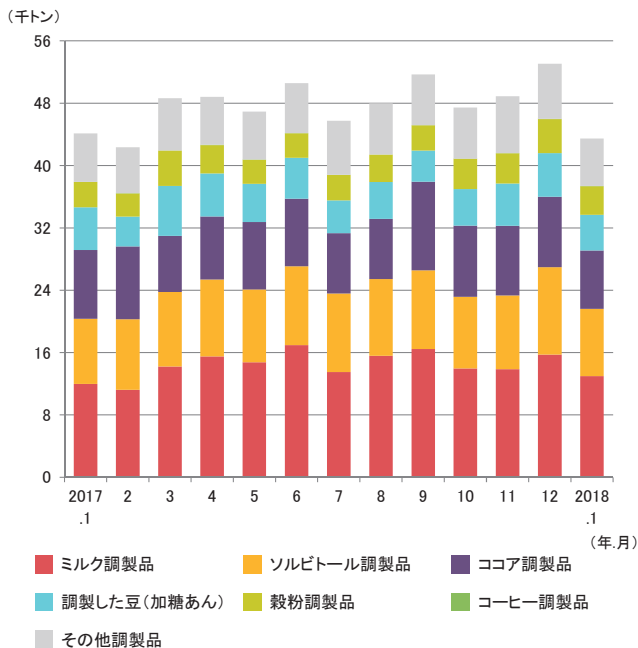
1月の加糖調製品の輸入量は前年同月からわずかに減少

財務省「貿易統計」によると、2018年1月の加糖調製品の輸入量は、4万3471トン（前年同月比1.5%減、前月比18.1%減）であった（図9）。

品目別の輸入量は、次の通りであった。

ミルク調製品	1万2996トン
(前年同月比8.5%増、前月比17.4%減)	
ソルビトール調製品	8631トン
(同3.1%増、同23.2%減)	
ココア調製品	7484トン
(同15.2%減、同17.0%減)	
調製した豆(加糖あん)	4572トン
(同16.7%減、同18.2%減)	
穀粉調製品	3650トン
(同12.9%増、同16.4%減)	
コーヒー調製品	47トン
(同40.2%増、同55.4%増)	
その他調製品	6092トン
(同1.6%減、同13.8%減)	

図9 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは次の通り。

ココア調製品：1806.10-100、1806.20.111、1806.20-190
 コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246
 調製した豆(加糖あん)：2005.40-190、2005.51-190、2005.99-119
 ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284
 ソルビトール調製品：2106.90-510
 穀粉調製品：1901.90-251、1901.90-252
 その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-282、2106.10-219

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

2月の糖種別・地域別の砂糖価格(日経相場)は次の通りであった。

上白糖(大袋)

東京 1キログラム当たり189~190円

大阪 同190円

名古屋 同193円

関門 同193円

上白糖(小袋)

東京 1キログラム当たり202~203円

大阪 同204円

本グラニュー糖(大袋)

東京 1キログラム当たり194~195円

大阪 同195円

名古屋 同198円

ビート・グラニュー糖(大袋)

東京 1キログラム当たり189~190円

大阪 同190円

名古屋 同191円

2月の異性化糖の価格(日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%)は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり131~132円

果糖分55%もの

同137~138円

【小売価格】

2月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で28.4円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、191.7円（前年同月差0.6円高、前月差2.4円安）であった。

地域別^(注)の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	196.7円
（前年同月差7.3円高、前月差0.2円安）	
東北	201.0円
（同5.9円高、同5.0円高）	
関東など	181.1円
（同0.8円高、同0.3円安）	
首都圏	185.6円
（同5.1円安、同11.1円安）	
中部	179.0円
（同0.7円高、同3.3円安）	
関西	193.3円
（同1.1円高、前月同）	
中国・四国	207.4円
（同4.8円安、前月同）	
九州・沖縄	198.4円
（同7.2円高、前月差0.2円安）	

最も高かったのは中国・四国で、最も安かった中部との価格差は28.4円であった。

(注) 地域の内訳は次の通りである。以下、グラニュー糖および三温糖も同じである。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

2月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で75.3円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、243.8円（前年同月差2.4円高、前月差0.6円高）であった。

地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	201.8円
（前年同月差3.2円高、前月同）	
東北	277.1円
（同3.8円高、前月差0.8円高）	
関東など	247.7円
（同2.6円高、同1.0円安）	
首都圏	249.3円
（同2.5円高、同3.0円高）	
中部	249.0円
（同1.3円安、同0.8円高）	
関西	230.1円
（同2.8円高、同0.1円高）	
中国・四国	262.0円
（同3.2円高、同0.2円安）	
九州・沖縄	222.9円
（同6.2円高、同1.1円安）	

最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は75.3円であった。

2月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で44.2円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、236.0円（前年同月差2.2円高、前月差0.5円安）であった。

地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	249.7円
(前年同月差10.7円高、前月差1.5円安)	
東北	255.5円
(同0.4円安、同2.8円安)	
関東など	242.1円
(同2.0円高、同0.6円高)	
首都圏	230.8円
(同1.2円高、同0.7円高)	
中部	228.9円
(同1.9円高、同0.5円高)	
関西	225.3円
(同1.4円安、同1.0円安)	
中国・四国	254.7円
(同4.6円高、同1.0円高)	
九州・沖縄	211.3円
(同2.8円高、同2.9円安)	

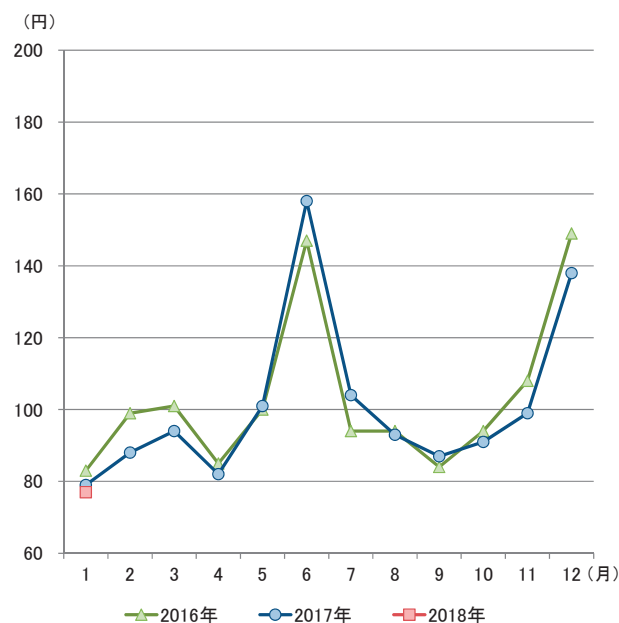
最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は44.2円であった。

【購入金額および購入量】

1月の砂糖の支出金額は前年同月からやや下落

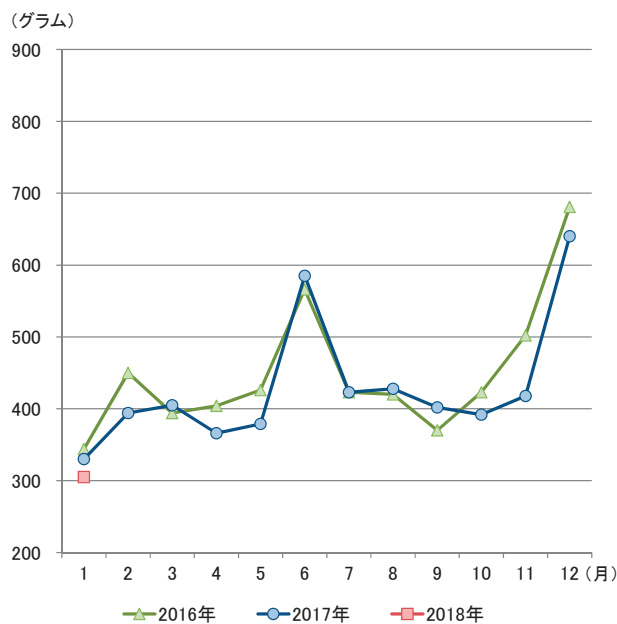
総務省「家計調査」によると、2018年1月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は32で、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は、77円（前年同月比2.5%安、前月比44.2%安）であった（図10）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、305グラム（同7.6%減、同52.3%減）であった（図11）。

図10 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図11 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」